

コムワンだより

梅雨時のカビトラブル

No. 87
2019. 5.13

梅雨の季節がもうすぐやってきます。梅雨の時期はジメジメと湿度が高い状態が続くため、カビやダニが増殖しやすい季節といえます。カビが居住者の健康にも悪影響が出ることがあります。

カビによる健康被害

カビの胞子は非常に小さいため、吸い込んでしまうこともあります。健康な成人であれば影響を受けにくいかもしれませんが、乳幼児や高齢者の方、体調を崩し抵抗力が落ちている人は、カビによって病気が引き起こされる可能性があります。

感染症

白癬菌というカビによる「水虫」は代表的な感染症の一種です。足に生じるものが代表的ですが、爪や手、股、顔面など、他の部位にも起こる場合があります。

アレルギー疾患

気管支喘息やアレルギー性鼻炎の原因は様々ですが、カビが原因となる場合があります。

過敏性肺炎

塵やホコリにまぎれているカビやエアコンや加湿器に付着したカビが肺炎の原因となることがあります。

カビ中毒

アフラトキシンなど「カビ毒」によって食中毒を引き起こすことがあります。



カビが発生しやすい場所

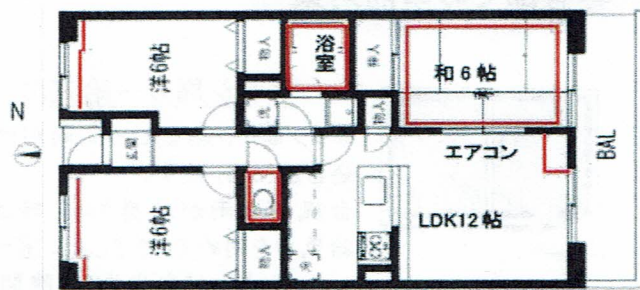
カビの発生しやすい場所は意外と多く、水分があって湿度が高い浴室や台所、寝室やクローゼットといった通気性がよくない場所は、比較的にカビが発生しやすいです(右図赤線の場所)。水まわり以外でも、カビは発生しますので、カビの予防には気をつけたいところです。



カビの好きな場所

- カーテン
- カーペットを敷いている畳
- 布団をしまっている押入れ
- リビングのソファ

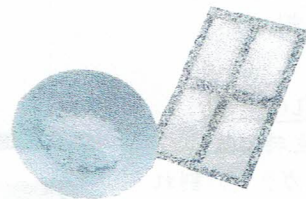
- 観葉植物の土
- お風呂場
- 洗面所
- 本棚



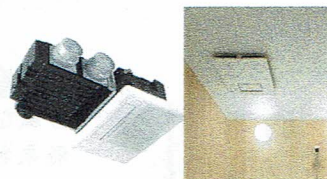
カビの予防策



24時間換気が設置されている場合は、正常に換気扇が機能しているか、ご確認ください。ほこりで目詰まりしている場合は、取り除きましょう。



小皿や小瓶に入れた重曹や市販の湿気取りシートを湿気の多い場所に置いておくと、除湿効果が期待できます。



浴室を改修し、「浴室乾燥システム」を導入する例が増えてきています。ガスや電気でも暖かく乾燥した空気をつくれますので、浴室が早く乾燥し、カビ予防に効果があります。





コムワンだよりからのお役立ち情報

これからはゲリラ豪雨等が多くなる季節になります。大雨によって地下駐車場内が冠水するなど、重大な被害に遭う可能性もあります。被害を抑えていくために、早めの対策を立てていきましょう。

共用部分での事前準備

機械式駐車場等の排水ポンプ点検・釜場清掃

排水ポンプが枯葉や砂などのゴミで詰まったり、経年劣化等でポンプが故障していることを知らなかった場合、台風や大雨など いざというときにポンプが機能せず排水されません。地下の機械式駐車場は冠水、車両水没のリスクに直結します。

排水ポンプが適正に稼働するか、定期点検が重要です。また、機械式駐車場では日常的に砂や泥、車のオイルなどが釜場に入りやすいため、排水ポンプの稼働に支障をきたさないよう「釜場の清掃」をお勧めしております。



屋上排水口の清掃

屋上の排水口に枯葉などのゴミで詰まった場合、屋上に雨水がたまっていきます。屋上防水が劣化していると、徐々に建物内へ水が浸みていき、室内まで漏水することがあります。



出典: <http://blog.liverfloor.jp/>

出典: <http://setsubinoblog.seesaa.net/>

土嚢や止水板の用意

マンションが周りの土地より低い場所にある場合、建物内へ浸水のリスクがあります。多量の浸水となれば、設備故障や汚損など、建物への影響も少なくありません。少しでも浸水してくる水量を減らせるように土嚢の準備や、誰が配置するか役割を決めておくなど、事前に対策を立てておきましょう。止水板の設置(右の写真)も効果的です。



専有部での事前対策

サッシ周り・給気口

サッシ周りや給気口から雨が吹き込むことがあります。

台風や大雨が予想される時は、給気口を閉めておきましょう。窓サッシのパッキンが劣化すると隙間ができ、水が入り込むことがありますので、チェックしておきましょう。



出典: www.souka.com



ベランダの排水口

ベランダの排水口が詰まっていると、水がうまく流れません。

大雨の際にベランダに水が溜まり、室内への浸水や階下への漏水につながる可能性があります。日常的に側溝や排水口周りのゴミを掃除しておきましょう。

窓ガラス割れの予防

台風など強風の発生時には、飛来物によって、窓ガラスが割れることがあります。

ガラスが飛散しないように飛散防止フィルムを貼っておくなど、事前の対策をおすすめします。



駐車場の浸水

地下へ降下するタイプの機械式駐車場は、台風や大雨のとき、ポンプの排水量よりも流入する水量が上回り、車両水没の危険があります。

天気予報や災害情報を事前にチェックし、車を安全な場所へ移動しておくことをおすすめします。



CommunityOne